

ラージボールとは




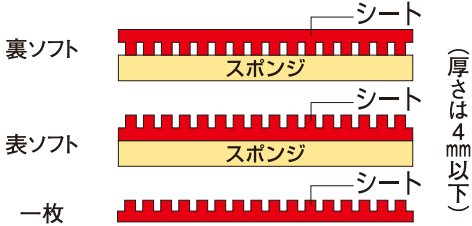
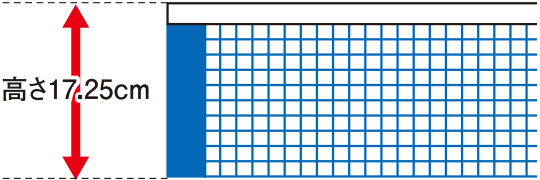
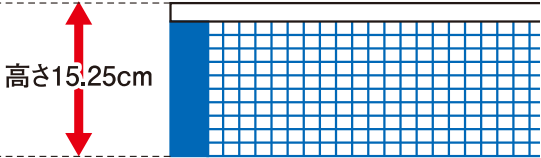
ラージボールの誕生は1988年(昭和63年)。
ニッタクは社会貢献の一環として、ラージボールの普及活動をしています。
身体と頭脳を同時に使うので、脳の血流が活性化されて、認知症予防にも効果が期待されています。楽しく健康寿命の延伸を目指しましょう。



ラージボールの魅力って何?

大きくて軽いラージボールは初心者でも高齢者でもラリーが続き、全国各地でラージ人口が増加の一途をたどっています。
それはなぜか? 試合中はもちろん真剣勝負ですが、試合前や試合後には笑顔でふれあえ、人との結びつきを生み出すからです。
世代を超えて交流でき、楽しみながら本気になれる、これがラージボールの魅力です。

ラージボール卓球のボール・ラバー・ネットの高さ(硬式卓球との比較)

	ラージボール(44mm)	硬式卓球(40mm)
ボール	 <ul style="list-style-type: none"> ●直径 44mm ●重さ 2.20g~2.40g <p>ボールはオレンジ色、軽くて大きいため、ゆっくり飛び、回転量も少なく簡単に打ち返せます。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> ●直径 40mm ●重さ 2.70g
ラバー	 <p>表ソフトのみ</p> <p>※粒高や一枚ラバーは禁止</p> <p>(厚さは4mm以下)</p>	 <p>裏ソフト</p> <p>表ソフト</p> <p>一枚</p> <p>(厚さは4mm以下)</p>
ネット	 <p>高さ17.25cm</p> <p>ネットが2cm高いので、ボールの軌道も高くなり、硬式よりもラリーが続きます。</p>	 <p>高さ15.25cm</p>

研究当時、ボールの試作にニッタクが協力し、色々な大きさ・重量で実験が行われた。一番左が採用された44mm 2.2~2.4gのボール。



ラケット

ルール上、硬式とラージボールの違いはありませんが、軽量で反発力のあるケブラー®スピードや極薄カーボンなどを使用したものが「ラージボール用ラケット」に適しています。